美術館に関する意識調査(関東エリア) 2022年度調査報告書

独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター 社会連携促進グループ

2023年9月

調査主催:独立行政法人国立美術館 本部事務局 渉外・広報課

調査設計・分析・レポート作成:株式会社インテージ



目次

1.美術館への来館頻度「あなたはどのくらいの頻度で美術館を訪れますか」	P4
2.美術館来館時の同行者「美術館へは誰と行きますか」	P5
3.情報認知経路「あなたが展覧会の情報を知るきっかけは何ですか」	P6
4.美術館に重視すること「美術館に行くとき、どのようなことを重視しますか」	P7
5.美術館の施設・サービス「導入した方が良いと思う施設・サービスはどれですか」	P8
6.チケット「利用したことがあるものはどれですか」	P9
7.チケット「利用したいものはどれですか」	P10
8.チケット「日時予約制チケットにどのようなイメージをお持ちですか」	P11

調査目的と調査概要

【調査目的】

本調査は、美術館に対する一般的な意識を確認することにより、国立美術館各館における活動の参考とすることを目的として、2022年に実施したものです。

【調査概要】

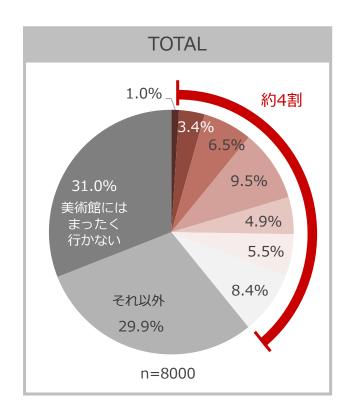
調査方法	・インターネット調査(スクリーニング調査 + 本調査)		
調査設計	1)スクリーニング調査(一次調査)として8,000サンプルを回収 ・株式会社 インテージのモニターを利用し、モニター登録属性より、以下を抽出 関東の1都3県(東京、神奈川、千葉、埼玉)/20~79歳/男女個人 ※以下のモニターは抽出対象から除外 ・業種が以下のいずれかに該当する回答者:マスコミ・広告/新聞・放送業/市場調査 ・2015年からの当該調査の回答者(本調査は2015年から継続的に実施) 2)本調査(二次調査)として1,000サンプルを回収 ・スクリーニング調査の回答者の中から、以下を抽出 美術館への来館頻度が年1回以上と答えた「美術館高関与層」800サンプル + 美術館への来訪頻度が年1回未満と答えた「美術館低関与層」200サンプル ※「美術館には全く行かない」回答者を除く		
サンプルサイズ	スクリーニング調査:8,000サンプル 1都3県(東京、千葉、神奈川、埼玉)の男女構成比に準拠	本調査: 1,000サンプル 美術館来訪頻度で高関与層・低関与層を定義 TOTAL TOTAL 1,000 美術館高関与層(年1回以上) 美術館低関与層(年1回末満) 200 ※「美術館にはまったく行かない」は除外	
調査期間	スクリーニング実査 2022年 11/4 (金) ~11/7 (月) 本調査実査 2022年 11/10 (木) ~11/14 (月)		

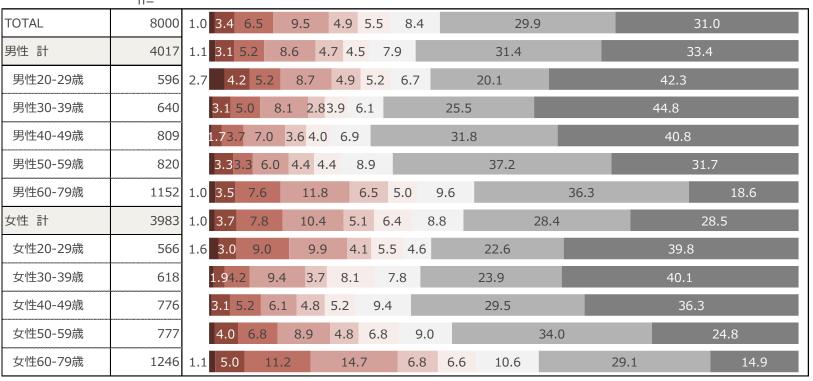
調査結果

美術館への来館頻度「あなたはどのくらいの頻度で美術館を訪れますか」

- 🗸 美術館の来館頻度は、「美術館にはまったく行かない」が31.0%で最も高く、次いで「それ以下」29.9%、「年に1回程度」9.5%が続く。
- ✓ 「美術館にはまったく行かない」「それ以下」を除く、全体の約4割が「月に1回以上」から「4~5年に1回程度」美術館に来館している。
- ✓ 性年代別では、女性60-70代で「年に1回程度」以上が3割と、他の性年代に比べて高い。
- O あなたは美術鑑賞のため、どのくらいの頻度で美術館を訪れていますか。あてはまるものをひとつお選びください。

■月に1回以上 ■2~3カ月に1回程度 ■半年に1回程度 ■年に1回程度 ■2年に1回程度 ■3年に1回程度 ■4~5年に1回程度 ■それ以下 ■美術館にはまったく行かない



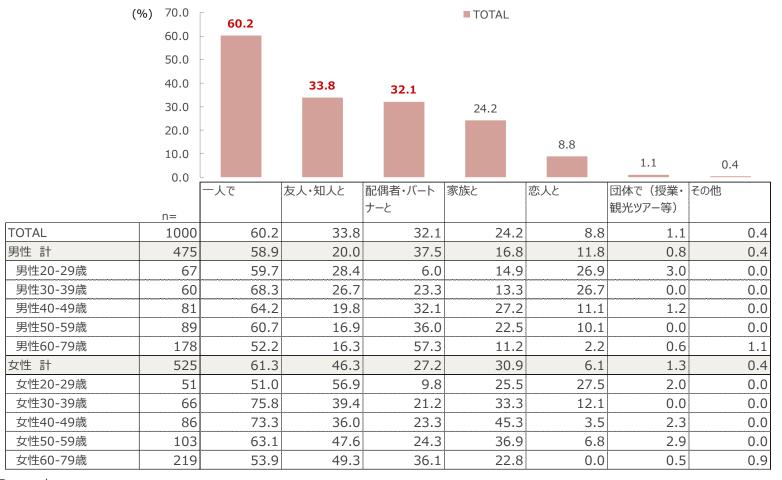


非表示:1%未満

美術館来館時の同行者「美術館へは誰と行きますか」

- ✓ 美術館来館時の同行者については、「一人で」が60.2%で最も高く、次いで「友人・知人と」33.8%、「配偶者・パートナーと」32.1%が続く。
- ✓ 女性は「友人・知人と」「家族と」が男性と比べて高い傾向がある。一方、男性は、20代を除き「配偶者・パートナーと」が女性と比べて高い。
- ✓ ほとんどの性年代で「一人で」が最も高くなっているが、女性20代では「友人・知人と」が一番高い。男性60-70代は、「配偶者・パートナーと」が最も高い。

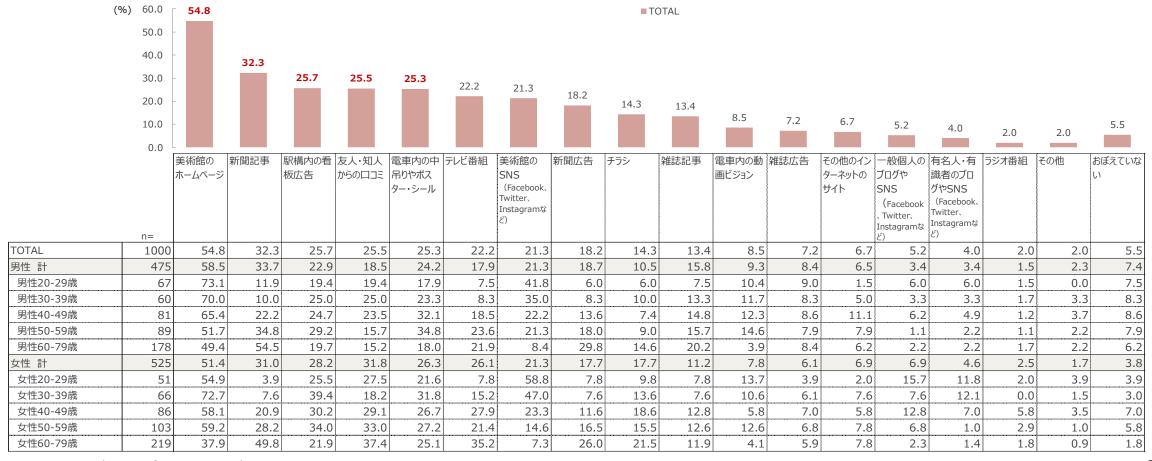
Q あなたは美術館に行くとき、どのような方と一緒に行きますか。あてはまるものをいくつでもお選びください。



情報認知経路「あなたが展覧会の情報を知るきっかけは何ですか」

- ✓ 展覧会を知るきっかけは、「美術館のホームページ」が54.8%で最も高く、次いで「新聞記事」32.3%が続く。「駅構内の看板広告」「友人・知人からの口コミ」 「電車内の中吊りやポスター・シール」は25%程度で並ぶ。
- ✓ 性別では、女性は「友人・知人からの口コミ」が31.8%と全体と比較しても高く、男性の18.5%との差も大きい。
- ✓ 性年代別では、女性20代は「美術館のSNS」が最も高く、男女ともに60-70代では「新聞記事」が最も高い。

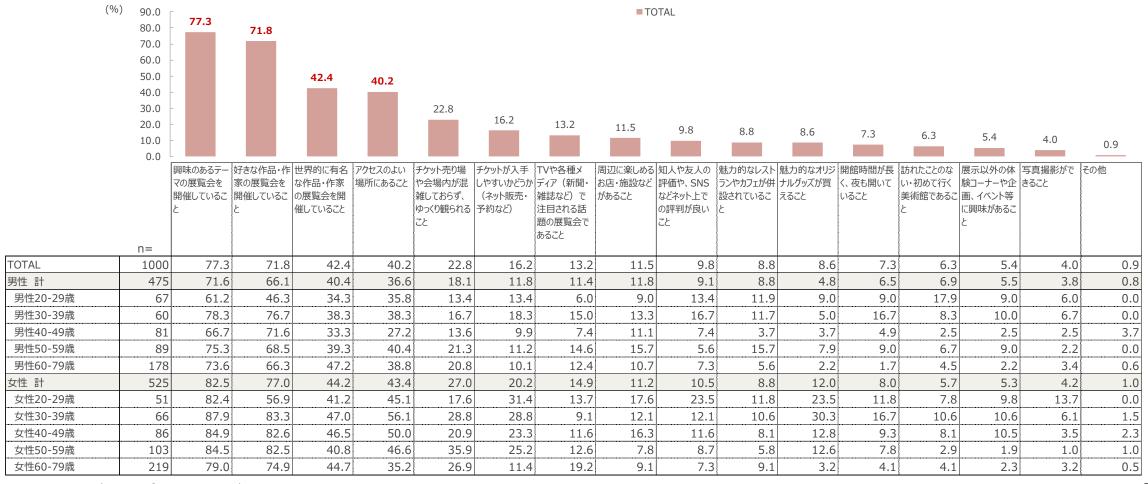
O あなたが普段、美術館の展覧会の情報を知るきっかけはなんですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。



美術館に重視すること「美術館に行くとき、どのようなことを重視しますか」

- ✓ 美術館に行くときに重視することは、「興味のあるテーマの展覧会を開催していること」77.3%、「好きな作品・作家の展覧会を開催していること」71.8%が突出して高い。次いで「世界的に有名な作品・作家の展覧会を開催していること」42.4%、「アクセスのよい場所にあること」40.2%が続く。
- ✓ 性年代別では、 男女20代では「好きな作品・作家の展覧会を開催していること」が他の年代よりも低く、5割前後に留まっている。

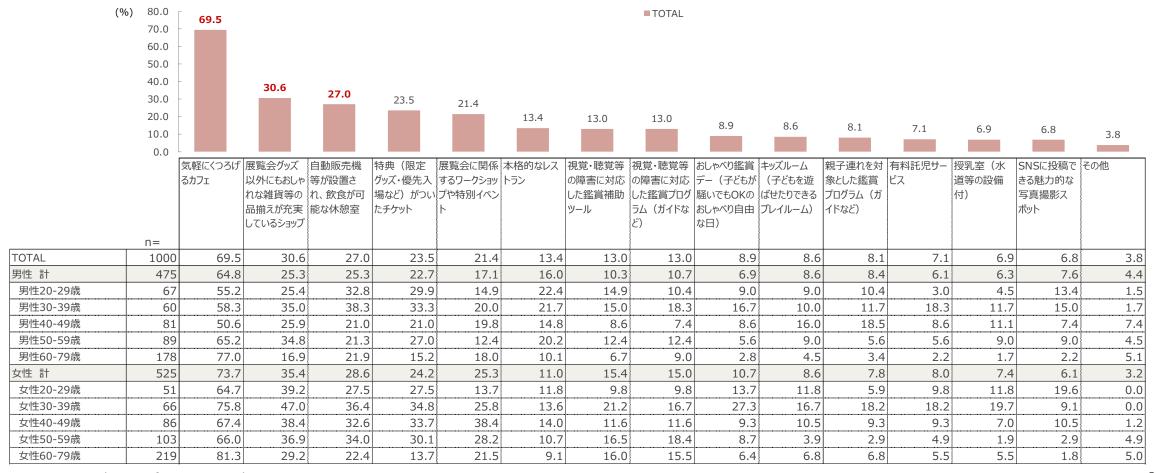
O あなたが美術館に行くとき、どのようなことを重視しますか?あてはまるものをいくつでもお選びください。



美術館の施設・サービス「導入した方が良いと思う施設・サービスはどれですか」

- ✓ 美術館で導入した方が良いと思う施設・サービスは、「気軽にくつろげるカフェ」が69.5%で最も高く、次いで「展覧会グッズ以外にもおしゃれな雑貨等の品揃えが充実しているショップ」30.6%、「自動販売機等が設置され、飲食が可能な休憩室」27.0%が続く。
- ✓ 性年代別では、40代女性は「展覧会に関するワークショップや特別イベント」が38.4%であり、全体2位の「展覧会グッズ以外にもおしゃれな雑貨等の品揃えが充実しているショップ」と同率で高い。

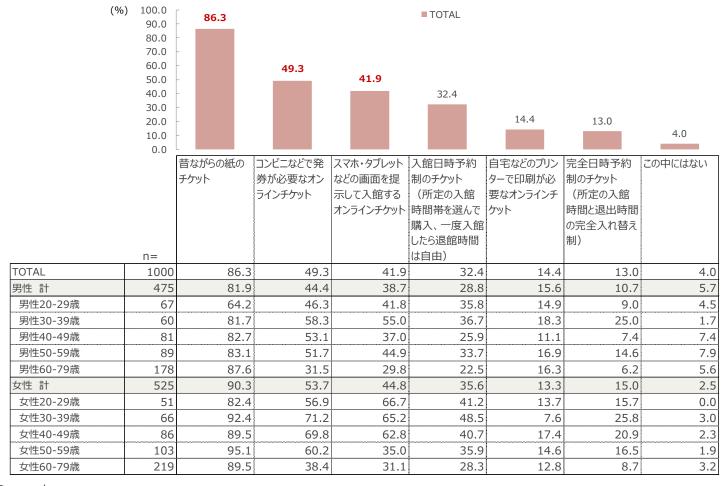
O 美術館の施設・サービスについて、積極的に導入した方がよいと思うものをお答えください。



チケット「利用したことがあるものはどれですか」

- ✓ チケットの利用経験は、「昔ながらの紙のチケット」が86.3%で突出して高く、次いで「コンビニなどで発券が必要なオンラインチケット」49.3%、「スマホ・タブレットなどの画面を提示して入館するオンラインチケット」41.9%が続く。
- ✓ これらの項目はいずれも女性で高く、「昔ながらの紙のチケット」は約9割が利用したことがある。

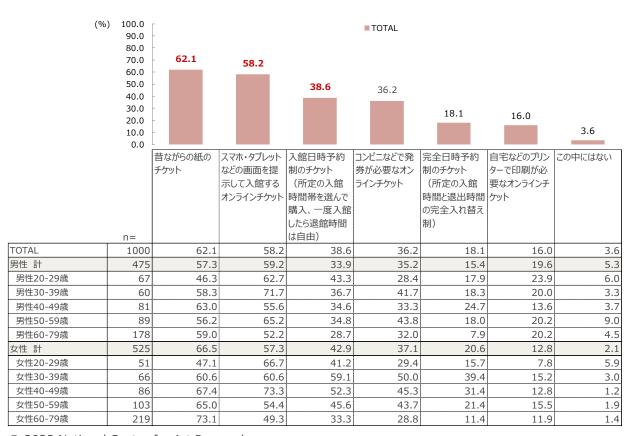
Q 以下のチケットサービスの利用について、次の項目それぞれについてあてはまるものをお選びください。: 利用したことがあるもの



チケット「利用したいものはどれですか」

- ✓ チケットの利用意向は、「昔ながらの紙のチケット」62.1%と、「スマホ・タブレットなどの画面を提示して入館するオンラインチケット」58.2%が突出して高い。 次いで「入館日時予約制のチケット」38.6%が続く。特に30代代男性と40代女性では「スマホ・タブレットなどの画面を提示して入館するオンラインチケット」は7割以上と高い。
- ✓ オンラインチケットは、前ページの利用経験では「コンビニなどで発券が必要なオンラインチケット」が「スマホ・タブレットなどの画面を提示して入館するオンラインチケット」を上回るが、利用意向では逆転し「スマホ・タブレットなどの画面を提示して入館するオンラインチケット」が6割弱、「コンビニなどで発券が必要なオンラインチケット」は3割強にとどまる。

Q 以下のチケットサービスの利用について、次の項目それぞれについてあてはまるものをお選びください。: 今後(今後も)利用したいもの



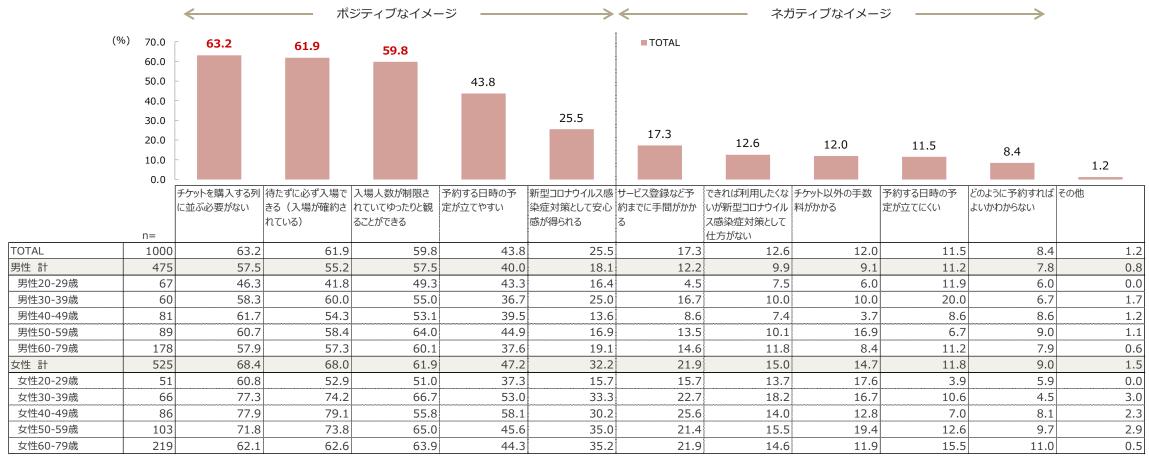
〈参考〉P.9 チケット「利用したことがあるものはどれですか」(Total)

- ・昔ながらの紙のチケット:86.3%
- ・スマホ・タブレットなどの画面を掲示して入館するオンラインチケット: 41.9%
- ・入館日時予約制のチケット(所定の入館時間を選んで購入、一度入館したら退場時間は自由):32.4%
- ・コンビニなどで発券が必要なオンラインチケット:49.3%
- ・完全日時予約制のチケット(所定の入場時間と退出時間の完全入れ替え制) : 13.0%
- ・自宅などのプリンターで印刷が必要なオンラインチケット:14.4%
- この中にはない:4.0%

チケット「日時予約制チケットにどのようなイメージをお持ちですか」

- ✓ 日時指定チケットのイメージは、「チケットを購入する列に並ぶ必要がない」が63.2%で最も高く、次いで「待たずに必ず入場できる(入場が確約されている)」 61.9%、「入場人数が制限されていてゆったりと観ることができる」59.8%が続く。
- ✓ すべての項目で、男性よりも女性の方がポジティブイメージ・ネガティブイメージともに回答の割合が高く、特に「チケットを購入する列に並ぶ必要がない」「待たずに必ず入場できる(入場が確約されている)」は7割弱。

Q 美術館の展覧会の日時予約制のチケットについて、どのようなイメージをお持ちですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。





【調査に関するお問い合わせ先】

独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター 社会連携促進グループ

Mail: social-c@artmuseums.go.jp